

第3回 令和7年度使用教科用図書加古川採択地区選定委員会 議事録

日時：令和6年7月29日（月）

場所：高砂市ユーアイ帆っとセンター

2階交流スペース7

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）第2回加古川採択地区選定委員会協議に関する報告書の確認について

（第2回選定委員会での協議内容をまとめた選定報告書の内容確認について事務局から説明）

会 長：先ほどの説明に関しまして、何かございませんか。

（承認）

（2）「令和7年度使用中学校教科用図書の選定について」

①数学科教科用図書の選定について

会 長：まず東京書籍をお願いします。

委 員：例題があり、その例題に対して解き方が丁寧に書いてあり、さらに、それ以外いろんな問題が適切な量であると思いました。全体的に苦手な子もわかりやすいような配列の中でできている教科書だと思います。

委 員：まず表紙がイラストで、数学というと難しく感じますが、ちょっと教科書を開いてみようかなというような表紙のイラストに感じました。必ず解けるようになりたい問題にはハートマークをつけているのは、数学が苦手な子どもたちにとっても取り組みやすい、これだけは頑張ろうと思える、すてきな工夫だと思いました。

委 員：最初に算数から数学というところで、小学校から中学校1年生の教科書へ入りやすいイメージがあります。あと、112 ページなどの要所に写真があり、スポーツ栄養士などと数学を結びつけているようなところも、子どもたちにはイメージが湧きやすく、そのあたりが良いと思いました。

委 員：数学と生活との関連が強く示されていて、数学が生活の中で役立っていることがよく分かる教科書だと思いました。学習指導要領でも、日常生活や社会の事象から問題を見いだすようなことも指摘されていますので、そのあたりがよく配慮された教科書だ

と思いました。

委員：本当に丁寧な作りをしていて、数学が苦手な生徒もちゃんと意識して作っている感じが随所にあるように思います。数学×栄養士など、そういうページが非常にたくさんあって、実社会と職業との繋がりというような形がすごく良いと思います。また、東京書籍はデジタルコンテンツが非常にすぐれていて、そのコンテンツの中でいろんな振り返りができるところが良いと思います。基本の問題や章の問題がデジタル表示されていて、ヒントを与える、見ながら進めることができるような構成になっているので、個別最適な学びに適した教科書だと思いました。

会長：続きまして大日本図書、よろしくお願いします。

委員：全体的に丁寧に説明が書いてある反面、もう少し踏み込んで説明してほしい、あるいは、もっと深く考えるヒントのような部分もあったら良いと感じました。ですから、大抵の生徒はできるが、ちょっと物足りないと思う生徒も中にはいるのではないかなと思いました。

委員：全体的にシンプルで、見慣れた、従来通りの紙面構成になっていると思います。よく言えば集中して取り組めそうでシンプルな感じがします。巻末のところの課題学習は、数学を通して身の回りのことを考えるということで、社会と数学の繋がりを感じられるのが面白いと思いました。

委員：シンプルでなじみがあるような教科書に思えました。一見して読みやすい印象があります。

委員：非常に説明が丁寧になされている教科書だと思いました。各章末の「社会にリンク」や「活用・探究」というところで、社会と数学の関連が十分に扱われているが、内容がかなり高度という印象を受けました。

委員：巻末のマスクの話など、実生活、職業に関する内容やSDGsに触れていて、表紙を開くと生活場面を意識した大きな写真が提示され、シンプルなものにも写真は随所にちりばめてあるように感じました。昔の数学の教科書ってこんな感じだったかなと思いながら見ました。デジタルコンテンツに関して、数学は立体的な図形等を使うのでシミュレーションがよく使われますが、非常に動きが早く、ここの部分だけは使いやすかったです。デジタルコンテンツは量が少ないと調査報告では否定的でしたが、シミュレーションに関してはおそらく一番動作がよかったと思っています。

会長：それでは、学校図書よろしくお願いします。

委員：全体的に色合いが薄く、もう少しメリハリのある表現があればなあと思います。

「Question」というところで丁寧に書いてある部分があり、学習としてはもっと子どもたちが試行錯誤しながら答えにつながる発想を見つけ出したいが、ここに全部答えが書いてあるように感じました。そういう子どもたちの発想を、この丁寧さが妨げる部分もあるのではないかと思います。

委員：紙面の中で子どもたちやキャラクターが会話をしながら進めていくようなページがありました。課題を解決していくところがあって、いろんなつぶやきや子どもたちの吹き出しなどを見ながら、わかりやすくなるような工夫がされていると思います。ですが、やはり結果、文字が多くなるので、それを読み取って理解するのも、苦手な生徒にとっては難しいところもあるのかなと思います。

委員：まず、表紙や裏表紙を見るとタブレットを使って何かが飛び出す工夫がされていて、興味を引くというイメージはあります。中でも身近に、1年生でいうとサッカーや陸上、天気などの場合、取りかかりやすい印象はあります。ただ、文字が多くなると、数学の嫌な部分が出てくるかなと感じました。

委員：各章末の「活用」「深めよう」や巻末の「さらなる数学へ」、このあたりは非常に興味深いテーマを扱っていると思うのですが、難易度としては高い内容が多いと感じました。色使いが少し見づらい子どももいるのではないかと感じております。

委員：確かに情報量が多いと感じます。どんなことがわかったかという学習のまとめがあって、次の課題へつなげていくという問題解決学習的な要素も十分持っており、学習指導要領が一番目指している部分についてはできているが、量が多く、こなすには難しい部分はあると思います。調査報告にもあった「解き方やヒントが多くわかりやすい」という部分については、わかりやすいと感じる一方で、そのままの内容でわかったように思ってしまうというか、思考を深めることができないのかなと感じました。

会長：教育出版、お願いします。

委員：教育出版は、1ページの中になんか詰め込んで表現しているところがあると思います。例えば先ほどの東京書籍は、ある程度ゆとりを持って、そこに書き込みながら考える部分がありますが、かなり詰め込んでいるためちょっとやりにくい、しんどいなあと思う生徒もいるのではないかと思います。また、基本的な問題がありますが、発展的な発想に繋がるような問題がもう少し確保されていればなと思っています。

委員：デジタルコンテンツを見ましたが、内容の多くをサポートということで、考え方が6行ほど書いてあるだけであったり、動画は音声がなかったりで、活用しにくいと思いました。ただ、「学習のまとめ」がありますが、章の基礎的な内容を振り返るという

内容で、穴埋め方式になっているので、苦手な生徒も取り組みやすいと思いました。

委員：文字が多いのが第一印象です。「学習のまとめ」はしっかり書いていただいているので、そのあたりは良いと思います。

委員：「学びのマップ」が一覧で示されています。これは非常にわかりやすいと思いました。各章の前に、「〇〇を学習する前に」という導入のようなところがありますが、これと「学びのマップ」がリンクしているのも、工夫されているところかなと感じています。

委員：調査報告にもありましたが、全体的に丁寧にまとめられていると思いました。ただ、ページ数が多いところがネックになります。その中でも「Let's try」の導入で身近な例を扱って、生徒の会話や表、グラフ等用いて、見方、考え方などいわゆる数学的活動を取り入れるように工夫されているので、非常に良いと思いました。賛否分かれると思いますが、発展的な学習内容は取り上げられているので、できる子にとっては本当に良いが、これを全体でしようと思うと学習時間のバランスに配慮していかないといけないので大変かと思います。教育出版はデジタルコンテンツが少ない印象がありますので、そこもちょっと工夫があったら良いと思いました。

会長：それでは続きまして啓林館をお願いします。

委員：とてもきちっとした良い教科書だと思いました。特に問題等がきちんと表現されていることに加えて、動画が非常に良く、丁寧に作成しているなと思いました。項目ごとに明確に何を学ぶかを記載しているので、すぐれた教科書だと思います。一方、その各単元の最初からある程度レベルの高い表現で始まっていますので、苦手な子にはやや難しい教科書だと感じるかもしれません。もう少しやさしいところから導入して授業を進めたいという先生方にとっては、この教科書は良い教科書だけど、ちょっと難しいなと思う方もいるのではないかと思います。

委員：デジタルコンテンツを見ましたが、本当に解説動画がとても丁寧でわかりやすいと思いました。他教科は人が出てきて説明をするので、どうしてもその人物に目がいきがちですが、シンプルに声だけが聞こえて説明を覚えていくということで、集中して聞くことができるのかなと思いました。いろんなコンテンツもありますが、音が出るなどすごくわかりやすく説明され工夫が見られると思いました。

委員：1年生の「言語能力」等、身近なところや自分たちの経験に基づくようなところにもつながってあるのかなと個人的に感じて、このあたりは面白いと思いました。

委員：デジタルコンテンツが豊富で非常にわかりやすい印象を持ちました。この教科書は割

ときちっと内容を押さえていると。デジタルコンテンツをうまく活用すると良さが生じてくる教科書ではないかと思っています。

委員：巻末が非常によく工夫されていて、1年生のランドルト環ですね。なぜ視力検査なのかと思うような、身近な生活に根差した数学を取り上げていこうとしている姿勢がすごく感じられました。全体的にバランスが良いと感じました。デジタルコンテンツの中には解説動画も下線や矢印を使って見やすいように工夫されていました。「振り返りC B T」という、デジタルの中で問題を解くようになっていて、これも数が非常に豊富でした。やや難しい問題もありますが、比較的数学の苦手な生徒にとっても取り組みやすいのではないかと感じました。

会長：それでは、数研出版をお願いします。

委員：この教科書の特徴は、最初の例題表現だと思います。吹き出しを使いながらとてもわかりやすく、見やすく考えやすいようにしている。この単元の最初のスタートの時点で非常に丁寧な表現をしていることが特徴だと思います。特に子どもたちにとっては苦手な子もずっとその単元に入っていけるような工夫があるなと思っています。

委員：随所に生徒やルーというキャラクターが配置されて吹き出しがあり、間違いやすい点に注目するなど、学びが深まっていくことが期待できるのではないかと思います。

委員：必要なことは書いていることに加えて文字数が少ないと感じます。文字が多かったらどうしても嫌だという生徒もいると思いますが、このあたりならちょうど良いかなと感じました。

委員：キャラクターがすごく上手に使われていて、思考をスモールステップで助けてくれる、そういう手だてがよくなされていると思いました。デジタルコンテンツの中にリンクがありますが、これも理解度に合わせて使っていけるので良いのではないかと思います。

委員：皆さんおっしゃる通り、見やすい印象的です。「TRY」が各学年にあります。そこで数学的活動ができやすいようにいろんな工夫がされていました。巻末には「学びの自己評価」があるところも良いと思いました。デジタルコンテンツは、本当にシミュレーションの動きも速く、章末の探究問題はなかなか工夫されていて、やってみようかなと思わせるような問題になっているので良いと思っています。

会長：それでは日本文教をお願いいたします。

委員：先ほどの教科書と同じように最初のデータ導入の仕方が非常に丁寧であり、わかりやすい表現になっていると思います。ただ、さらに主体的な深い学びということに対し

て、もう少しいろんなテーマ、例えばコラムなど、もっと興味関心、あるいは子どもたちに刺激を与えられるようなコンテンツもあればさらに良いと思っています。

委員：各章の最後に、「次の章を学ぶ前に」というページが必ず設定されてあるところがいいと思いました。次の章を学ぶのに必要な内容を予習するなど、つまづきを未然に防ぐ工夫がされているのが良いなと思いました。

委員：見やすいのと、SDGs のことも身近なところを数学につなげて書かれているのが良いと思いました。

委員：ページの色づけや、文字や図形の配置も非常に見やすいと思いました。巻末に「数学マイ トライ」がかなりの分量でついており、数学が好きな子どもたちにとってはとても興味深いものになっているのではないかと思う。

委員：色使いが上手だと思いました。立体をカラーで表しているのが、非常に見やすいなあというのが実感です。特に立体図は色がついていると違いがよくわかるので、そういう意味では工夫されていると思いました。練習問題がたくさんあり、できるだけ教科書にある練習問題を教員は使うことが多いようですので、そういう意味では良かったと思います。生活場면을意識した写真も随所に見られ、デジタルコンテンツが非常に充実しているなと思いました。

会長：では、意思表示をしていただけたらと思います。

委員：授業者としてはその中にある程度の練習問題があった方が良いでしょう。それを Chromebook など使いながらどんどん進めていく。そこに例題もある程度あったほうが良いということを踏まえると…難しいですが、トータル的に見ると東京書籍が良いと思っています。啓林館も良いと思ったのですが、2つで良いですか。

会長：はい。

委員：同じく東京書籍と啓林館です。

委員：東京書籍と啓林館ですが、取り組みやすさでいうと数研出版。学習という面では差はないですが、取り組みやすさ、見やすさという意味で良いのかなと。数研出版で。

委員：私も1つに絞るのが難しいと思いました。皆さんと同じですが迷った結果、東京書籍か数研出版が良いのではないかと思います。

委員：数研出版も本当に良いですが、少し塾的な感じがするところがあって、学校が苦手な子には難しいのかなあという気もしたので、東京書籍か啓林館でずっと迷っていました。調査報告を聞く中では、調査員は東京書籍を推しているように感じました。ただ、この地域はずっと啓林館で何年もやっているの、東京書籍になって本当に大丈夫な

のか少し気になりながら、どっちかと言われたら東京書籍になるかと思いました。どちらとも良いところはあります。

②保健体育教科用図書の選定について

会 長：保健体育に入ります。では、東京書籍からお願いします。

委 員：非常にまとまっている教科書で、最新のテクノロジーやSDGsとの関連について記載されており良いと思います。また、見開き1ページが1時間の授業でこれを勉強するとわかりやすいと思いました。

委 員：巻末に健康や安全に関する「巻末スキルブック」があり、現代的な課題に対応できるようになっているのが良いと思いました。また、イラストや写真が楽しく示されているのが良いと思いました。

委 員：巻末資料が良くて、生徒の興味をひくことができると思います。

委 員：デジタルコンテンツに関して動画やワークシートなど豊富に用意されており、良いと思いました。「巻末スキルブック」が非常に実践的で良いと思います。

委 員：東京書籍は保健の領域から記載が始まっている構成が特徴かと思います。SDGsや地球温暖化、放射線、新型コロナウイルスなどを取り扱うなど、発展教材も多く取り上げているところが良いと思います。また、デジタルコンテンツの中に「危険予測シミュレーション」がありましたが、これもなかなかよくできていると思いました。

会 長：次は大日本図書をお願いします。

委 員：映像を見ながら進めることが生徒にとってのわかりやすさにつながると考えると、デジタルコンテンツがやや少なく感じました。また、昔からの定番の内容は充実しているが、もう少し最新の情報もあればなお良いと思いました。

委 員：デジタルコンテンツの中にまとめの問題があるなど、効率よく個々に学習の振り返りができ、個別学習ができるという点では使いやすいと思いました。

委 員：導入部分には写真が多く使われており興味をひくが、全体的に読み進めると左側が説明で右が絵という構図に変化がなく、少しおもしろみがないと感じました。

委 員：私は本文と資料が左右のページで分けてあるのが工夫だと思いました。資料ページを中心に学習して、本文は太字の要点を押さえていくようなイメージを持ちました。ただ、資料をどれだけ活用できるかは教員の力量によると思いました。

委 員：気候変動や放射線など現代的な課題も取り扱われていますが、最新の情報は少ないように感じました。

会 長：それでは、大修館書店をお願いします。

委 員：調査員の報告書では評価が高いが、全体的な単元構成はわかりやすく見やすいものの、文字・イラストが小さくやや見にくいと感じました。また、情報量が多く、1 ページを1 時間で取り組むのはやや難しいと思いました。

委 員：章のまとめに観点別内容がまとめられており、整理されていて活用しやすいと思いました。

委 員：資料は普段使える内容やスポーツとして役立つことがあると思いますが、確かに文字の量が多い気はしました。

委 員：写真や図解資料は非常に効果的かつ豊富に配置されていると思います。また、章のまとめとして「知識・技能」「思考・判断・表現」など観点別にまとめているところは、非常に使いやすいと感じています。しかし、デザインとしては見やすいがやはり情報量としては多いと感じます。

委 員：資料集と教科書を合わせたような内容となっており、学ぶべきものと資料との関連がわかりやすい印象です。SDGs や放射線、性の多様性など最新の情報も取り扱っていると思います。デジタルコンテンツの「保体クイズにトライ！」では、生徒自身で振り返りができるよう、非常によく工夫されていると思いました。

会 長：それでは Gakken をお願いします。

委 員：「ウォームアップ」があり、生徒が導入の段階で自分の考えを記入できるようになっているのが特徴かと思います。

委 員：ウェルビーイングや多様性、共生など現代的な課題が掲載されており、多様な社会への対応力が身につくように工夫されていると思いました。

委 員：「探究しようよ！」のページは、環境や放射線などの内容があって良いと思います。また、「ウォームアップ」の特徴が面白いです。

委 員：1 ページの情報量が多いため、文字が読みづらく、重要なポイントがどこにあるか把握しづらいと思いました。一方で、パラリンピックを大きく取り上げ、「支える」という視点から学習指導要領に対応した内容になっているところは良いと思っています。

委 員：見開きで「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」があり、最後右端のところに「とりくメーター」があるなど紙面を工夫し、同じ構成で学習を進めることができるのは使いやすいと思いました。ただ、何となく字が読みにくく感じました。背景に白が多いからか少し見にくい印象です。もう少し字の使い方や色合いを変えると、見開きに全部収められてわかりやすいと思いました。

会 長：それでは、意思表示をお願いします。

委 員：東京書籍か大修館書店かどちらかが良いと思いました。

委 員：大修館書店が良いと思います。

委 員：私も東京書籍か大修館書店かというところです。

委 員：大修館書店が良いと思います。

委 員：私もこれは大修館書店が良いと思いました。

③美術科教科用図書の選定について

会 長：それでは美術です。開隆堂出版からお願いします。

委 員：調査員の報告にもありましたが、触覚にうったえる立体的な表紙で、迫力のある写真が生徒の興味をひくものとなっているところが良いと思いました。ただ、教員として指導するにあたっては、指導力がかかなり問われる教科書ではないかなと思いました。

委 員：繰り返しですが、表紙が特徴的でインパクトがありずっと触っていたいと思いました。また、2・3年生の「物語だから動かしたい」では、「鳥獣人物戯画」のイラストなどをアニメーションで表現する学習があり、生徒がやってみたいと思う内容構成に工夫を感じました。

委 員：今の時代に合ったイラストや写真があり、興味深い内容になっておりすごく良いとは思いますが、生徒が授業中に違うところばかり見てしまうなど、主題となる活動に目が向きにくくなる可能性があると思いました。

委 員：私もやはりこの表紙には非常にひかれました。表紙からも鑑賞が始まっているような印象を受けました。また、デジタルコンテンツを示す二次元コードが各ページに記載され、横にはデジタルコンテンツの内容があるため、生徒に見たいと思わせる工夫になっていると思います。

委 員：巻末に「学びの資料」があり、表現活動を進めるために必要な知識や技法が紹介されていました。また、2・3年「持続可能な未来へ」のページでは、SDGsなど現代的な課題に触れられており、美しい写真や絵だけではなく、持続可能な世界を創っていく力を育成する内容も記載されていると感じました。しかし、デジタルコンテンツでは、生徒の作品が單元ごとに紹介されているのですが、1單元ごとに5点の紹介であり、少ない印象を受けました。

会 長：では、続きまして光村図書をお願いします。

委 員：キャラクターと吹き出しで効果的に説明しており、生徒にとってわかりやすいのが特

微だと思います。その他、日本画もしっかり扱っており、いろんな工夫があると思いました。

委員：全ての題材が鑑賞から始まり、続いて表現活動が設定されており、題材への理解を深めた上で進められる構成が良いと思います。また、別冊資料に作品の情報やさまざまな技法がまとめられており、3年間活用できるところが良いと思いました。

委員：生徒にとっては、自然の色や表現の仕方など、わかりやすくて良いと感じました。

委員：私も先ほどの意見と重なりますが、キャラクターと吹き出しが非常に効果的に使われていると感じました。資料が別冊になっており、いろいろ説明がありました。また、机上で完全に開くことができるよう綴じ込み方が工夫されており、作業しながら活用しやすいと思います。

委員：私も資料は面白いと思いました。1冊にまとまっている方が教える側としては良いのかと思いましたが、調査員の報告ではあまり評価されてなかった印象を受けました。1年生の「風神雷神図屏風」は見開き4ページを使っており、インパクトがあり良いと思いますが、机上では広げづらいと感じました。写真はすごく良い印象です。日本画も積極的に取り入れられており、日本文化に親しむことができる構成となっている印象を持ちました。デジタルコンテンツでは、生徒の作品例が单元ごとに取り上げられており、紹介作品数が多く設定されているところが良いと思いました。

会長：それでは、日本文教出版をお願いします。

委員：各単元の最初のテーマに工夫があり、例えば、「なぜか気になる情景」「人間っておもしろい」「材料に命を吹き込む」など、生徒の興味をひくような内容構成となっているところが良いと思います。

委員：生徒の作品が豊富に掲載されているところが良いと思いました。調査員の報告にもありましたが、学年別の3冊にまとめられているため、学年ごとでそれぞれの発達段階に応じた学習を進められると思いました。

委員：興味をひくところが一番かと思いました。身近な内容が多く、興味をひく工夫がされている印象です。

委員：3冊に分かれていること、表紙に学びのテーマが書かれているところが特徴的だと思います。また、冒頭で美術の専門分野ではない他の分野の人物が紹介されており、他の分野と美術の繋がりというか、生活の中にある美術というのが、意識されるような作りになっていると思います。さらに、日本文化にまつわる作品の紹介も多かったのではないかと思います。

委員：この教科書は見開きがコンパクトで、さまざまなページで折込を小さくして見やすくしているところが工夫していると思います。また、デザインの的にも面白いなと思い、各ページのポイントに目が向きやすいような紙面構成になっているところが良いと思います。デジタルコンテンツでは技法動画が豊富にあり、マーブリング、フロタリングなど、生徒にとってわかりやすく活用しやすいと思います。さらに、ギャラリーにおいて、生徒の作品を更新して掲載しており、デジタルとうまく融合させると面白く使えると思いました。しかし、美術2、3下は、「学びの探求と未来」というタイトルで、「求」が学習指導要領の示す内容の「究」とは異なっていたため、少しなぜかなと気になりました。

会長：それでは意思表示をよろしくお願いします。

委員：これこそ、皆さんバラバラになるかもしれないと思いますが、光村図書が良いかなと思っています。

委員：開隆堂出版が良いと思います。

委員：私は日本文教出版でお願いします。

委員：日本文教出版が良いと思います。

委員：私も3社本当に迷いまして、実際、調査員の報告も聞いていても、どれが良いかわからなかったですね。悩み悩んで先ほど言いましたがデジタルコンテンツとの融合という意味で、日本文教出版が良いかと思いました。

④技術・家庭科教科用図書の選定について

会長：それでは続きまして技術分野です。東京書籍からお願いします。

委員：東京書籍はバランスがよく、指導要領に沿ってきちんと表現しています。しかし、1年生で取り組む「材料と加工の技術」が非常に少なくなってしまうと感じます。今の小学生は経験がない中で、しっかり実践できるところの材料や加工を少なくし、情報へ力を入れているところは少し残念だと思います。また、ノミを使う加工の取り上げがなく、日本人が得意とする「技巧」の分野や「ものづくり」に関する記載が少ないと思います。

委員：調査員の報告にもありましたが、情報モラルのところでも多くページ数を取って、イラストなどを使って説明しているところが子どもたちにとっては、わかりやすく良いと思いました。

委員：プログラミングなどが身近な内容でわかりやすいと思います。「ものづくり」につい

てはやはりもう少し内容を充実してほしいという感じはしました。

委員：知識や技術をしっかり定着させるという意味では良いと思います。

委員：各編の導入で「技術の見方・考え方」として、環境への負荷や経済性などを意識できる構成になっていると思います。また、デジタル化が進む社会に合わせ、技術の最適化について考えさせているところが良いと思いました。さらに、生活や社会の中から問題を発見して、課題を設定する流れが優れていると思いました。デジタルコンテンツは動画が豊富にあり、視覚的にわかりやすく、動作がスムーズで良いと思います。

会長：次は教育図書をお願いします。

委員：全体的に少し写真が暗く小さいため、やや見にくいと思います。全体的にバランス良く調べてあるとは思いますが、表現がもう少し工夫されていれば良いと思います。

委員：別冊が設定されており、「設計・計画・実習」に活用しやすく生徒にとってもわかりやすいと思いました。

委員：先ほど写真が少し暗いというご指摘があったんですが、私は写真や図解の資料が豊富で、視覚的にわかりやすいという印象をもちました。スキルアシストという別冊も良いと思いました。

委員：教員の支援を受けて進めるのではなく、生徒自身が読み進めて実践する内容が多くなっていると思いました。例えば、4コマ漫画を見て作るなど、生徒の主体性を促す内容となっています。そのため、教員が教える授業形態においては、少し使いづらい可能性があると思います。デジタルコンテンツについては動画が非常に豊富で、活動のポイントを見てから取り組むことができるため、非常にわかりやすいと思いました。

会長：それでは最後、開隆堂出版をお願いします。

委員：ガイダンスや授業の流れがわかりやすく表現されていると思いました。同じ箇所学習の課題が書かれており、生徒が見通しを持って取り組みやすいと思います。そして、興味をひく動画が豊富に用意されており、学習内容のポイントを意識しやすくなりました。また、環境問題やエネルギーについても丁寧に扱っていると思いました。

委員：デジタルコンテンツが大変豊富で見やすく使いやすいと思いました。しかし、見開きで見ると少し情報量が多くて、どの部分を見たらよいかわからない可能性があると思います。

委員：ガイダンスのところは全体的に見やすく良いと思いますが、4コマとかは少し見にくいと感じました。

委員：各章にインタビューがあり、学習した分野と実社会とのつながりを意識させているの

が良いと思いました。また、ページの右上に単元で扱う道具が写真で入っており、非常に工夫をされていると思いました。

委員：私も初見は非常に見やすいと思ったのですが、実習例が文字で書いてあり、取りかかりにくいと思いました。また、要求を「Wants」で表しているが、表現が適切かどうか少し気になりました。SDGsや環境など現代的な課題を多く取り上げており、近未来をイメージして学べるよう工夫されていると思いました。デジタルコンテンツについては、非常に充実している印象です。領域ごとに「問題解決のふり返しシート」が設定されており、学習の足跡を残せるところが良いと思いました。

会長：それでは、意思表示の方よろしく願いいたします。

委員：開隆堂出版でお願いします。

委員：開隆堂出版でお願いします。

委員：私も開隆堂出版でお願いします。

委員：私は教育図書が良いのではないかと思います。

委員：私は東京書籍かと思っています。デジタルコンテンツをうまく使うということで良いと思いました。

会長：それでは家庭科の分野に行きたいと思います。では、東京書籍からお願いします。

委員：二次元コードが各ページの同じ箇所に掲載されており、非常にわかりやすく書いてあると思います。全体的にバランスの取れた構成となっていました。しかし細かい写真はもう少し工夫があればと思います。

委員：写真やイラストが豊富で細かい手順が掲載されており、子どもたちの「やってみよう」「作ってみたい」という学習意欲を引きだすことができるところが良いと思います。また、デジタルコンテンツの献立シミュレーションで、子どもたちが興味を持って活用することができると思いました。

委員：災害や消費者など身近な生活の記載が書かれており、わかりやすいです。

委員：パステル調が少し見にくいような気がしました。また、写真の鮮やかさや紙質が少し見にくいため、もう少し工夫ができるのかと思いました。

委員：東京書籍だけ単元構成が食生活分野から始まっているのが特徴的だと思います。加古川市においては、3年生で保育実習を行うケースが多くみられることから、単元構成が実態に合っている印象です。内容的には非常にバランスが良いと思いますし、調査員の報告でもありましたが35ページと41ページの6つの食品群は非常にわかりやすいと思いました。サステナブルクッキングを紹介するなど、SDGsに関する内容を

取り入れているところが良いと思います。また、デジタルコンテンツは充実しており、東京書籍は強いという印象です。

会 長：続きまして、教育図書をお願いいたします。

委 員：参考資料としては見やすいんですが、授業の中で使うとなるともう少し深く考えさせるような場面があればと思うところです。特に消費生活については1歩踏み込んだ取り組みをしてもらいたいと思いました。

委 員：調査員の報告にもありましたが、男女共同参画の資料が取り上げられたり、イラストで男性が料理をしていたり、多様性に配慮していると感じました。

委 員：家庭科の実習後にシールを貼るなど、意欲を引きだし、興味をひくように工夫されていると思いました。

委 員：写真の資料は鮮やかで見やすく、豊富に掲載されていると思います。視覚的に理解を促すことができるという印象を持ちました。

委 員：私も写真は非常にきれいだという印象を持っています。しかし、家族・保育分野から単元構成されているが、内容についてはやや少なかったと思います。見開きのページで、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」という構成で作られているのはわかりやすいと思いますが、振り返りの最後に「私の学び」は書き込み可能であるが、活用が難しいと思いました。デジタルコンテンツについては充実しており、献立計算ソフトでカロリーを計算できるなど、生徒の興味をひきやすく面白いと思いました。

会 長：では最後に開隆堂出版をお願いします。

委 員：幼児の生活に関する内容も豊富に取り扱われているところと調理の写真が、非常に迫力があり、工夫されていると思いました。また、消費生活について、「エシカル消費」や「フェアトレード」などを取り入れているのが良いと思いました。

委 員：参考の欄が随所にあり、絵本が紹介されていたりウェルビーイングやジェンダーについての記載があったり、現代的な課題について考えることができるところが良いと思いました。

委 員：衣服などで個性を表すところで、芸能人がいるのは良いと思ったんですが、文字が少し見にくいなという感じがありました。

委 員：写真や図解資料がとても見やすくできていると思いました。

委 員：家族・保育から単元構成されており、内容もかなり盛り込んでいると思いました。多様な性に関してもしっかりと扱っていますし、調理の手順など、写真でわかりやすく掲載しているという印象を持ちました。ただ、掲載箇所によっては字が大きくなったり

小さくなったりするところがあり、どこをポイントに見たら良いのかという感じは少しあります。写真のところだけだとすごく見やすいのに、文字が少し増えるとなかなか読みづらいという印象を持ちました。

会 長：それでは意思表示をお願いします。

委 員：全体的に見て私は開隆堂出版が丁寧な教科書になっているなと思いました。

委 員：私は東京書籍が良いと思います。

委 員：開隆堂出版が内容としては良いと思いました。少し文字のところはひっかかるころはあるんですが、開隆堂出版でお願いします。

委 員：開隆堂出版でお願いします。

委 員：私は東京書籍です。

⑤外国語科教科用図書の選定について

会 長：それでは外国語の方へ入っていきます。東京書籍からお願いします。

委 員：小学校からの繋がりを考えると、ユニットの1から4まで小学校での既習事項が合わせて記載されているところが良いと思いました。動画で掲載されているキーセンテンスの解説動画がすごくわかりやすい。外国の方がおもしろおかしく説明することで子どもたちも引きつけられるし、内容もとてもわかりやすいと思いました。また、随所にある「Grammar for Communication」の説明がとてもわかりやすいと思いました。調査員の報告書の中でもあったように、be 動詞や一般動詞について小学校では詳しく説明することなく体験的に学んできていますが、それらをうまく整理し、文法に関してわかりやすく説明されていると感じました。一方、3年生の終盤の学習内容ではReading の内容が増え、難易度が上がるという報告もありましたが、卒業段階までに生きた英語力を身につけることを考えると、そういったトレーニングについても必要な手立てだと感じました。さらに、英語を読むコツが書いてあったり、単語には意味がついていたり、意識させながら力をつけていくと捉えれば活用しやすいと思いました。

委 員：私も先ほどの解説動画が非常にわかりやすいと思います。図やイラストも適切に配置されていると感じます。「Round」では、日本語も交えながらスモールステップで取り組めるよう工夫されていて、単元の中で問題に取り組む内容ですが、とても良いと感じました。

委 員：Listening がやや少ないという調査員からの報告もあったが、やはりこれから必要な

部分という意味では、Listening の少なさは課題かなと気になりました。

委員：見開きの右端に「New Words」がとても見やすく配列されているところに目が行きました。巻末の語順カードもさまざまな活用ができて良い工夫かと思います。キャラクターが出てきますが、ALT が中国系カナダ人という設定になっていて、こういったところにも多様性への配慮や工夫がされていると感じました。

委員：私も本当に見やすいと感じました。小中の接続単元が前半に、結構長く小学校の活動を振り返るようにしているので、これまでやってきた小学校の活動が、中学校の活動に活かされて良いなと思いました。また、「学び方コーナー」も発達段階に応じて適切な内容になっており、生徒の理解が深まりやすいと思います。世界や日本の文化の紹介では、写真を効果的に使っていると思いました。デジタル教材、コンテンツについて面白いと思ったのは、単語を隠していくマスク機能で自ら学習を進めたり、スラッシュ機能により区切りがわかりやすかったり、非常に良いと思いました。他の委員からも出た Key sentence の解説動画も非常にわかりやすかったと思います。学習者用デジタル教科書については、東京書籍と三省堂が同じプラットフォームを使っているため、基本的な使い方は同じです。ですから、例えばルビや拡大、反転機能があるなど、そういったところは基本的に一緒です。このプラットフォームについては、本文をタップすると、すぐに音声が出るという機能がついており、他のプラットフォームではない機能で、すぐに使うことができている良いと思いました。

会長：それでは続きまして、開隆堂出版お願いいたします。

委員：開隆堂出版もわかりやすい印象で、動画についても短時間で視聴可能な形に作られていると思いました。単元ごとに「Grammar Points」として文法に関するまとめがわかりやすく設定しており、文法が理解しやすい作りになっていると思っています。

委員：各単元の「Scenes for Basic Dialogs」の後ろに、新しく「Tuning in」ができていて、単元の予備知識の獲得やインフォメーションなど、本文への興味を高める工夫がされています。生徒のモチベーションにも繋がるので良いと思いました。単元のはじめに「こんな表現ができる！」と題して、イラストでポイントが書いてあるのは、視覚的にわかりやすくて良いと思いました。1年「A Trip to Finland」のように「Review & Retell」が細分化され掲載してあって、英語が苦手な生徒にも取り組みやすくハードルが少し下がる工夫だと思います。日本語で何を言うかというヒントも適切に設定されていて、何を言ったら良いのかがまず第一段階、その次に、ストーリーを振り返ったり、つなげたりというスモールステップで進められるのが良いと思いました。ま

た、1年生の「Get Ready」もすごく良いと思いました。小学校の内容を踏まえてすごくが設定されていて、小学校で学んだ内容を順番に振り返り、1年生が始まるというところがすごくいい。あと、各単元のページ下部には小学校で学んだ単語が3年生になっても記載されていて、途切れるのではなく学んだことがベースになって3年間続くんだと感ずることができるので、そういったところも良いと思いました。

委員：この教科書はパッと見た時に内容が入ってきやすかったのが第一印象です。各単元のページ右端には、イラストで進捗状況が表示されているので、自分の学ぶ内容や進度がわかりやすいと思います。

委員：文法を説明している「英語早わかり」のページが、特に1年生の教科書を見ると、色分けもよく、簡潔でわかりやすい印象を持ちました。「Action」というページで扱っているトピックが非常に実践的で、生徒たちが楽しんでできる内容も盛り込まれているところに良い印象を持ちました。

委員：私も非常に見やすい印象を持ちました。すごろくなど1年当初の活動は取り組みやすく、小中連携がしやすい工夫がされていると感じます。巻末には「CAN-DO リスト」があり、どんなことができるようになったかを振り返ることができる設定になっていますので、これも面白いと思います。2年「海外でもヒットするラーメンのCMをつくらう」や3年「ポスターセッションの流れを理解しよう」等が設定されており、思考の流れがわかりやすく、そういうレベルまでやっていこうという設定に非常に好感を持ちました。デジタルコンテンツの中にはスムーズに動きづらいものがいくつかあったので、授業での活用を考えるとやや不安があります。学習者用デジタル教科書も、開隆堂出版は教育出版と同じプラットフォームを使っていますので、開隆堂出版と教育出版の機能は基本的に同じです。ふせんやタイマー、しおり、スタンプ、ポイント等使えるので、積極的に活用すると生徒は教科書の中に自分の活動の記録を残していけます。ただ、これは他社のものでもできることなので、特に特徴的であるという部分は見受けられませんでした。

会長：次に、三省堂をお願いします。

委員：各単元の扉ページにおいて、単元の「Scene」が明確に設定されていて、イメージを持って学習に取り組めるように工夫されていると思います。各単元のスタートがすべて「Small Talk」から始まっており、1年生は話す・聞く活動から本文へ、2・3年生は聞く活動を行った上で文法を理解してから本文へというように、聞く活動からスタートする構成になっていて、英語を聞いて疑問をもってスタートする進め方が良いと

思うので、良い構成だと感じました。各単元最初の見開きでは、左側が文法練習、そして右側に本文、というようにわかりやすく整理されているのは使いやすいと思いました。デジタルコンテンツの方で見ると、発音チェックでは、モデルを聞いて自分で録音、採点、アドバイスができて、すごく面白いと感じました。自分がきちんと発音できているのかチェックできることがすごく面白いと思いました。ただ、調査員の報告書にもあったと思いますが、同じパートの中で be 動詞と一般動詞の表現が混在して出てくる箇所があり、小学校の時にすでに触れているとはいえ、教える側も生徒も混乱する可能性があるのかなと思います。学習する文法の順番が、小学校での学習がベースになっていると思うので、他とは少し出てくる順番が違うのも特徴だなと思いました。

委員：教科書を見る限り、登場人物がきちんと設定されており、一貫してこの 8 人で授業が進んでいくということで、これを最初に理解しておけば、一定の流れで進むのがわかりやすい。控え目なイラストや写真ではあるものの、必要な情報だけに絞って構成されていて、シンプルでわかりやすい工夫だなと思いました。

委員：資料がわかりやすく、自分たちで復習しても理解できると思うので、個別学習にも使えるなと思います。英語に苦手意識がある生徒もいると思うので、全体的に見やすいのがわかりやすく良いという印象です。

委員：調査員からの報告では、アニメの要素が強く出ているので学びやすいとお話しされていましたが、ページによってはこのイラストの印象が強すぎると感じる場所もあり、各ページのポイントが掴みづらいところもあるように思いました。外国語の 5 つの領域がイラストで示されていますが、これらが埋もれてしまってあまり目立たず、表現がつかみにくい可能性があるかと思います。

委員：イラストは賛否あるかもしれませんが、私は見やすいイラストであるという印象があります。ただ、文字の大きさがちょっと小さいところもあり、単語ももう少し大きくできるのではないかと、余白もあるので工夫できないのかなと感じました。「Take Action! ○○」等では、即興で使えるような表現が取り上げられていて良いと思います。現代的な課題に関する題材がやや少ない印象を持ったので、もう少し取り上げて良いと感じました。学習者用デジタル教科書については、東京書籍と同じプラットフォームで同様の機能ですので省略します。

会長：では教育出版をお願いします。

委員：「Tips for ○○」というページがあり、4 技能の習得のコツが記載されており、生徒

が学ぶ上で参考になると思います。やや文字での説明が多いので、しっかり読んで理解をして習得するということを、全員ができると思いなと思いました。紙面が左側に本文、右側に「Key Sentences」「Let's Listen」「Think&Try!」等、見やすく整理されているのが良いと思いました。ただ、「Task」が毎単元設定されていますが、振り返りのところでは、まず書いてみる、振り返って穴埋めをするなど、全て書く活動から入る構成になっているところがどうなのか。もう少し5領域を意識したさまざまな活動があるほうが効果的だと思います。また、文法の説明もシンプルで、各ページの「Key Sentences」の解説がないので、もう少しわかりやすくする工夫がほしいなと思います。デジタルコンテンツは音声のみで、生徒は聞くだけでは理解が深まりにくくハードルが高いと思いました。

委員：「Key sentence」についての説明がなく、いろんな色を使って表現しているが説明がないためわかりにくさを感じます。「巻末資料」に英語表現のまとめがあるが、もっと豊富に用意した方が良いのではないかと思います。

委員：文字が多く、どうしても英文を読むという意識が強く感じられる印象です。

委員：「Tips for ○○」のページはしっかりとした内容が盛り込まれていると感じます。何度出てきていますが、私も「Key Sentences」には解説がほしいなあというところですね。「Grammar」のページもわかりやすくまとまっていると思いますが、総合的に見ると文法に重きが置かれている印象を受けました。

委員：読んで学習するという面では良いのかもしれないと思います。また、「Think & try!」で活動例が掲載されていることで、生徒は活動しやすいのかと思います。また賛否分かれるところかと思いますが、書き込み欄が多くあり、ワークのように使うのであれば書き込みやすいと捉えられますが、果たして授業で使いやすいかどうかは疑問が残ります。大谷翔平が取り上げられていることは生徒にとっては興味を持ちやすいかと思います。「Key Sentences」の解説がないことは本当にもったいないなと思いましたし、動画がなくデジタルコンテンツも十分でないと思っています。

会長：では光村図書をお願いします。

委員：全ての章が「1. 予想する」「2. 音声を聞く」「3. 映像を見る」という流れになっていて学習の流れがつかみやすいのは良いと思いました。日本語場面や英語、絵やメモ、写真から推測、想像した上で「リスニング」に取り組むことで、効果的な学習になると思うので、その流れは良いと思いました。各Unitの扉にある「目的・場面・状況」は登場人物の言葉で表現されていてストーリー性が高く、生徒にとっても親近

感が湧くというか、身近な存在に感じられると思いました。全ての単元が学校生活を題材にしているので、生徒にとっては身近でイメージしやすいものだと思いますが、その反面、今日的な課題に触れる部分では記載がやや少ないと思います。「Let's Talk」ではテーマに沿って「スモールトーク」ができる構成で、テーマの設定によってさまざまな活動につながる場所は工夫されていると思いました。調査員からの報告書にもありましたが各学年の巻末にあった「英語の学び方ガイド」は、どうしたらいいですかと生徒によく聞かれる質問が多く、学習を進める上で参考になる内容で充実していると思いました。

委員：生徒が音声をヘッドホンで聞きながら、どんどん話を聞いて、話して聞いて話してという活動を大切にしながら授業を進める、という意図を感じました。だからこそ、教員の力量はかなり問われるような内容の教科書だと思います。

委員：Listen・Write・Speak など、わかりやすいマークで示されており、自分がどのような学習を進めているかがわかりやすいと思いました。書くばかりでなく、聞いたり、見たり読んだり、5領域を意識したさまざまな活動が設定されていて良い印象を持っています。

委員：基本構成が、左ページに本文、右ページに各活動となるように統一されていて、同じ構成になっているので、慣れてくるとどんどん自分でも取り組んでいくことができる紙面になっていると思います。巻末付録が充実しているのも良いと思います。

委員：デジタルコンテンツに関して1つ特徴的だったのは、動画の中で本文のイラストをドラマ仕立てにしている、それを実写版で生徒のやりとりを確認できるところが効果的で面白いと思いました。一方、学習者用のデジタル教科書でデジタルノートが設定されていますが、やや使いづらいと思いました。1年 Unit 3 までは、本文という形式ではなく、漫画のセリフのような形式になっています。このあたりは小学生を意識した作りで生徒は取り組みやすいと思いました。

会長：それでは啓林館、お願いします。

委員：各 Unit の扉には、「Input」「Output」が設定され、目標が提示されていて、「Unite Goal」の「Goal」が意識しやすい構成になっているのは良いところだと思います。各 Part の「Express Yourself」等、単元の中で4技能がバランスよく習得できる活動が設定されているところも良いと思いました。ただ、全体的にはとてもシンプルでやや文字が小さく、少し白いスペースが多いので、もう少し紙面に工夫があると良いなと思いました。

委員：今おっしゃられたところで、文字が少し小さいが、それを見やすいという人やそこに書き込むスペースがあると感じる人もいるとは言える。そのあたりが賛否あるだろうと思います。

委員：巻末付録は内容ごとに見やすくまとめられていて良いと思います。

委員：文字はやはり少し小さいと思いますが、挿し絵と本文のバランスは良いと感じました。4技能をバランスよく学習するというのは大前提で、その上で英文や文法のところにパッと目がいく紙面構成になっているので、しっかりと文字を読むという意味で良いと思います。

委員：なかなか使いにくいところがあるように思います。ただ、単元の間に設定された「英語の学び方」では主体的に学ぶためのコツが示されていて良いと思いました。学習者のデジタル教科書では独自のプラットフォームを使っており、「お道具箱」からターゲット動画にリンクするようになっていところは特徴かと思いました。また、大谷翔平を取り上げているところは生徒にとっては興味を持ちやすいかなと思います。

会長：それでは意思表示お願いいたします。

委員：開隆堂出版が良いと思います。

委員：開隆堂出版か東京書籍か。難しいところです。開隆堂出版をお願いします。

委員：開隆堂出版か光村図書かと思いますが、開隆堂出版をお願いします。

委員：私も1つにちょっと絞り切れなかったのですが、開隆堂出版か東京書籍も良いかなと思いました。

委員：私も開隆堂出版か東京書籍かと思ったのですが、開隆堂出版の方が使いやすいのではないかと思いますので、開隆堂出版にさせていただきます。

⑥ 特別の教科 道徳教科用図書の選定について

会長：特別の教科道徳にいきたいと思います。東京書籍からお願いいたします。

委員：いわゆる定番の題材などしっかりしていると思いました。アンケートやテーマもとても良いと思います。ただ、ひとつ気になるとすれば、各題材の前にいわゆる道徳的な価値観が全部書いてあり、これをどう捉えるか。生徒の主体性を奪っていないか気になります。

委員：報告にもありましたが、各項に「つぶやき」を書くというところが良いと思いました。資料を読んで思ったことをぱっと書ける。それをもとに、いろいろ話ができるところが良いと思いました。また、「いじめのない世界へ」の1年生22、23ページに見開き

でイラストが掲載されていて、「いじめに当たるのはどれだろう」というページがあり、多様な意見を出し、しっかりいじめの問題に取り組んでいく必要がありますが、そこで子どもたちがいろんな意見を交流することができるのではないかと思います。

「心情円」というものが付録でついているのが良いと思いました。自分の気持ちを表現し、学ぶ前と学ぶ後の気持ちを見える化するような活用ができると思いました。

委員：子どもたちがよく知っている人物が掲載されており、読んでみようかと思えるところが親しみやすい。インターネット、SNSやいじめで見て見ぬふりすることなどもしっかり書かれている。

委員：私もこの「つぶやき」の欄が良いなと思いました。この欄の大きさも適切で、あまりたくさん書くわけではなく、少しずつ考えながら書くことができるのではないかと思います。兵庫県の題材もたくさん取り扱われていて、例えば阪神淡路大震災や阪急電車のストーリー、神戸弘陵学園の女子野球のストーリーなど身近な話題があり、道徳的な価値を自分事として理解するということは繋がりやすいと思いました。

委員：東京書籍は、以前は現代的課題を多く使っていましたが、今回は一般的に道徳でよく使う教材を増やしています。テーマも増え、新しい話題もたくさんあって非常にバランスが良くなったと思います。しかし調査員からは、いじめというテーマを出している割にいじめ教材の数がやや少ないと報告されていました。

会長：では続きまして教育出版です。

委員：題材の前に道徳的なタイトルがあって読み始めるという、そこはどうかと思いました。この教科書は例えば、ぱっと開いて、「裏庭での出来事」というタイトルの右下に、「人の意見に流されてしまったことはあるだろうか」とあり、それを読んだ上でこの文章を読んでいくという流れになっています。加古川市の道徳研究部会に招いた講師の先生は、学習前に先入観を持たずに、まず読むように指導されていました。そのとき思ったことを大事にしながら授業を進めていくということが大切であるのに、最初から前提としてこれについて考えるようになっていきますので、これについてどう捉えるのかと考えております。

委員：3年間を通してSDGsに触れた項目がとても多い印象があります。

委員：シンプルな作りで、いろんな文章の後に「学びの道しるべ」というのを書いてあるなど、少し思考を変える手助けにはなるような印象があります。

委員：私も「学びの道しるべ」のところと、最初のテーマの右下に書いてある道徳的価値のところが目に留まりました。思考整理しやすいという意味では良いと思う反面、思考

が狭められてしまうような、思考の広がりを期待することが難しくなるような一面もあると思いました。

委員：私は、生徒に考えさせやすい教材は結構多いと思いました。読んで少し考えてみようということがしやすいような教材が比較的多いように思いました。デジタルコンテンツはやや少ないという印象があります。各学年巻末に「道徳科の学びを振り返ろう」という1年間を振り返るシートがあり、工夫していると思います。

会長：では、光村図書お願いいたします。

委員：この教科書に示されている道徳のテーマを順番に考えていくと、それに望むような態度を養うことが無理なく身につくのかなと思いました。進行の仕方が国語の教科書のように丁寧に作られています。

委員：同じく内容が難しいものが多いというか、読み取ることには時間がかかる教材もあると思います。ただ、「橋の上のおおかみ」や「泣いた赤おに」なども取り上げられていて、小学校のときに慣れ親しみ学んだものを中学生になって再度目にすることで、自分の成長を感じられるのではないかと思います。

委員：自分が学生時代の時のような内容があるので、親しみやすいです。

委員：各単元の後に「考えよう」というコーナーがあり、具体的な問いがあるので、扱いやすい反面、これに縛られてしまうと生徒の思考の広がりが狭められてしまうのではないかと思います。国語の教科書のようなというのは共感しました。

委員：国語の光村図書と言われるところがどこかにあるのかもしれませんが、確かに国語的なところもありますが、漫画の教材が多い印象を持ちました。また、3学年を通じていじめと情報モラルに非常にフォーカスしており、いじめに関する教材も多かったと思います。

会長：それでは続いて日本文教出版、お願いします。

委員：読みやすい教科書だと思います。特にわかりやすいのは、単元ごとに登場人物が最初にイラストで出てきます。理解しづらい子どもも、この文章にはこの登場人物が出てくるんだなと思いながら読んでいくので理解しやすいと思います。

委員：デジタルコンテンツの中に、道具箱、心情メーター、シンキングツールというものがあって、生徒に興味を持たせるような工夫があり、考えが深まると思います。さまざまな話し合い活動の活性化に繋がるのではないかと思います。

委員：個人的にはこの道徳ノートの使い方が気になりました。単元の終わりに「視野を広げて」という形で、いろんな説明が入っているのは面白いと思いました。

委員：道徳ノートはうまく活用すると、具体的に学びを記録して振り返ることができるので、使い方が難しいのかもしれないが、特徴的で良いのではないかと思います。「学びを深めよう」というコーナーでテーマについて具体的に考え、視野を広げ、周辺の事項に触れながら考えるというように、最後に道徳ノートで1冊にまとめるような学習を進めることができるので、思考の整理はしやすいと思います。

委員：非常に読みやすく考えさせやすい教材が多いと思います。いじめを扱った題材も全体で15本あったと思います。1つの学年で5本程度入っており、いじめのことはしっかり考えていくという意味では良いと思いました。道徳ノートはここだけですが、学校では一般的に別のノートを作っているというところが多いのが実情です。

会長：続きまして Gakken の方お願いします。

委員：挿絵やイラストはさまざまな工夫が用意されていて、面白いと思います。しかしタイトルの下に劇的に場面が転換する言葉が記載されています。生徒が文章を読んで感動し、道徳的な価値に気づき身につけていくと思うが、すでにここに書かれてしまい、主体性を狭めてしまっている。その劇的な場面が全部言葉として先に出ています。理解しやすいのかもしれないが、生徒に気づかせたいと思う。

委員：私もその部分に注目をしたのですが、場面が変わるところというワードになっている工夫がなされている。場面が描かれてあり、生徒が興味を高めて本文に入っていくというような活用もできるのではないかとと思うので、資料によっては、こういったところも子どもたちの興味を引くことは良いと思いました。

委員：調査報告にもありましたが、「メモ」欄があり、いろんなメモを取りながら思ったことが書けるところも良いと思いました。漫画やスポーツ関係などあり、親しみやすさがあるなと感じました。

委員：テーマの下に書かれているヒントになるような言葉が目にとまりました。人物伝などを読むときには、この下を書いてある言葉が子どもたちの興味を引くきっかけにもなるのかもしれませんが、教材によっては、一番子どもたちが考えないといけないところの答えが提示されているようにも思いますので、この部分がどうなのか気になりました。

委員：話題になっているところですが、テーマの下に説明の文章を入れるのも面白いなと思います。1つのポイントを示して、教員によって、取り上げ方を工夫できるところも良いのではないかと思います。全体を通して、読みやすいレイアウト、流れだと思っています。字体も統一され、漫画があるところはだけ別ですが、すごく読みやすい印象が

ありました。Gakken もいじめのことを非常によく取り上げており、全体で 18 本あったと思います。SDGs や多様性、キャリアについても、非常に多く取り上げて面白いなと思いました。

会 長：それではあかつき教育図書をお願いします。

委 員：あかつき教育図書は、道徳的な価値をアイコンのようなマークで表現しており、子どもたちの主観に左右されなくて良いのではないかと思います。それから挿し絵も必要に応じて登場人物が掲載されていると思います。基本的にしっかり読み込んだ後に自分を見つめて考えるということで、問いを投げかけ、子どもたちのさまざまな意見を発表させたり、意見を記述させたりといった仕掛けになっていると思います。これからの道徳の授業のスタイルをきちんと踏まえた上での編成になっているのではと思います。

委 員：報告にもあったのですが、「マイ・プラス」というコーナーが 1 学年に 3 ヶ所ありますが、いじめに関しても、さまざまな立場で考えられるポイントというのが示されており、子どもたちの中から意見が出るような工夫がなされているのは良いなと思いました。

委 員：目次のところで、さまざまなテーマから学ぶことができるところが良いと思いました。

委 員：非常に読みやすいフォント等を使っています。報告書の中にもあることですが、新型コロナや生成 AI など扱っていますし、テーマと言われるもの以外にも多様な教材が取り上げられているところが特徴的だと思います。

委 員：私も今回のあかつき教育図書は本当に新しい分野もたくさん入れてきたと思います。ただ、ややテーマが多すぎる印象もあることと、少し古めかしい文章も残っている感じがします。いじめに関しては 15 本掲載されており、大きく取り上げている印象を持っています。

会 長：それでは最後に日本教科書をお願いします。

委 員：全体的には先ほどのあかつき教育図書と同じような構成になっていると思います。出てくる登場人物の題材に、誰もが知っているような人物が載っているなど、いろいろ入っています。新しいのもありますし、バランスよく作っていると思いました。

委 員：「ウェルビーイングカード」というのがついていることがとても気になりました。こういったものを使って対話をしていく。どのように活用していくのが良いのかまだこれからにはなりますが、こういった視点を子どもたちに持たせられるのかなと思いました。

委 員：単純にシンプルで読みやすい構成という印象です。

委 員：「ウェルビーイングカード」にやはり注目しましたが、裏側に英語表記もあり、一見してどのように使っていくのかと思いましたが、ヨーロッパの方は割とこういう形式で、自分の思いを表現しながら、他者との対話をしていくという手法もあるように思うので、そういうところも視野に入れた構成になっているのかなと感じました。

委 員：「ウェルビーイングカード」もそうですが、巻末には「わたしたちの郷土」といって日本の自然文化遺産などに関する内容をまとめている、こういう付録的なところはとても良いなあという印象があります。一方で、少し道徳に向かない教材も多いような気がしました。表紙も今のプレザータイプにしてありますが、ずっと読んでいると昔ながらの雰囲気を感じてしまいます。少し現代っぽくない印象が全体の構成にあり、少し気になりました。感性の問題で内容ではないのですが。

会 長：意思表示の方よろしく願いいたします。

委 員：私は定番の資料や新しい情報も入っており、子どもたちに深く道徳の価値を学ぶことのできる、あかつき教育図書が良いと思います。

委 員：私は東京書籍が良いと思います。

委 員：あかつき教育図書が良いと思います。

委 員：私もあかつき教育図書が良いと思います。

委 員：私はあかつき教育図書か Gakken で悩みました。Gakken が良いと思います。

会 長：それでは以上を持ちましてすべての協議が終わりました。

4 連絡事項 議事録及び資料の公表について

事務局：加古川市教育委員会におきましては、選定委員会の報告を参考に、8月8日に採択を行います。そして、9月2日までに、採択報告書を県教育委員会に提出することになります。続いて、今回の採択結果や理由、選定委員会議事録、調査報告書などの、採択に関連する資料等の公表につきましては、規約第12条、また、選定委員名の公表につきましては、規約の第13条に基づき、採択期限後の9月2日以降に実施いたします。

5 閉会